

商業科だより No.10

令和二年十二月二十一日

小学校でのパソコン教室

笠田小学校の五・六年生を対象に、パソコン教室を行いました。五年生はワード、六年生はエクセルの内容で、商業科三年生「課題研究・地域連携班」が担当しました。授業内容や教材についても生徒が運営し、小学生二〜三人に高校生が一人付く形で授業を行いました。

「感想」 情報処理科3年 永山 奈々美さん



私は、ワードの初期設定や文字の大きさの変え方などを教えました。いつも私が何気なくやっていることを、どうしたら分かりやすく伝わるか、試行錯誤しました。小学生ということもあり、言葉を考えながら伝えたりもります。改めて、人に教える難しさがわかりました。パソコンが得意な子も苦手な子もいましたが、今回のパソコン教室を通じて興味を持ってくれたら嬉しいです。パソコン教室が終わった後に、小学生から「楽しかった」などの言葉を聞いて、とても嬉しかったし、やりがいのある授業だなと感じました。

「今後に向けて」

課題研究・地域連携班は、例年、かつらぎ町のパソコン教室や産業まつりの企画など、地域と連携した活動をしています。今後も、地域に貢献していきたいと思えます。

販売実習を行いました

毎年恒例となりました総合ビジネス科の販売実習を十一月九日と十二月四日の二日間、かつらぎ西PA内道の駅アンテナショップと笠田駅前の二店舗で実施しました。

和歌山県商業教育研究会統一商標「なごみあきない」の高砂あられ製造の特選あられと紀の川製菓製造の特選せんべいを販売しました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行いました。ご来店くださったお客様からたくさん笑顔を見ていただきました。ありがとうございます。

「感想」総合ビジネス科2年 川井 彩那さん

私は広告と販売促進の授業で、かつらぎPAの道の駅で販売実習をしました。店舗までの道中は、商品や荷物が多く、ずっと坂道で運ぶのが大変でした。道の駅に着いて、商品を棚に並べて、POPを貼って販売できる準備をしました。

私は、お客様を呼び係をしました。その時に、足を止めて商品を買ってもらったら、すごく嬉しかったです。



今回の販売実習を将来に活かしたいです。

競技大会結果報告

県ワープロ競技大会（十一月七日・和歌山商業）

団体の部 第3位（近畿ワープロ競技大会出場）

森結愛乃・森明矢乃・田中紗里奈

県高校生珠算電卓競技大会（十一月十八日・箕島高校）

珠算の部

団体優勝（二年連続）

個人優勝 後藤和馬

二位 堂本正明

三位 中谷明日香

読上算優勝 後藤和馬

読上暗算優勝 後藤和馬

電卓の部

団体優勝（二年連続）

個人二位 森結愛乃

三位 森明矢乃

四位 中谷明日香



三学期の検定試験日程



三学期に行われる商業の検定をお知らせします。受験する人は、最後まで諦めず、合格を目指して頑張ってください！

1月24日（日） 全商簿記実務検定

1月31日（日） 全商情報処理検定

2月 7日（日） 全商商業経済検定

中学生体験学習



十月三日（土）、中学生体験学習が実施されました。今年度は、コロナウイルスの影響で、2グループに分かれ、全体会と体験授業を行いました。

商業科三年生「課題研究・中学生体験学習班」のメンバー十七名が中心となって行いました。

「学科紹介」では、プレゼンテーションを使って、商業科・普通科で学習する科目の内容や検定の種類、卒業生の進路、特色ある取組などを、中心に説明しました。

商業科だけでなく、普通科の体験に参加する中学生や、中学校の先生、保護者の方々もいて、約400人を前にしてのプレゼンテーションでした。事前に、橋本中央中学校の進路説明会や授業の中で練習を行っていたため、堂々としていて、スライド操作とナレーションの息もぴったりでした。

「体験授業」では、フォトショップというソフトを使って、ハロウィンのポストカードづくりを行いました。画像を選び、文字を入れるなど中学生



たちは積極的に授業をしていました。

担当の生徒たちは、中学生に声をかけ、和やかな雰囲気を取り組んでもらうことができました。予想以上の出来栄でした。

担当した三年生の感想

『中学生が真剣に授業を聞いてくれて、わからな

いところは積極的に手を挙げて聞いてくれたので、楽しく教えることができました。笠田高校に入學してほしい！と思いました。』（体験授業班）

『私たちの話をみんな聞いて、目的の場所まで付いてきてくれたので、スムーズに誘導することができました。授業の手伝いもし、とても勉強になりました。授業が早く終わったときに混雑してしたり、靴箱の前で混雑したので、今後の改善点として来年につなげたいと思います。』（誘導班）



新型コロナウイルスが心配される中、多くの中学生が参加していただき、ありがとうございました。中学生体験学習に来てくださった生徒さんが、笠田高校に少しでも興味を持ち、入学してきてくれると嬉しいです。

商業科の科目紹介

プログラミング（一年次）

コンピュータにやってみてほしいことを理解できる言葉にしたものがプログラムで、そのプログラムを作る作業が「プログラミング」です。

AIロボットの登場や情報の自動化により、小学生からプログラミングの学習が必修化されます。和歌山県では、令和元年度より小中高でプログラミング教育が始まりました。小学校ではビジュアル言語、中学校ではロボット学習、そして高校ではテキスト言語をしています。

本校商業科では、エクセルVBA（マクロ言語）やJava言語を学習しています。ローマ字がたぐさん出てくるので、最初は苦手意識を持つ生徒が多いです。指示したとおりの結果が出るようにプログラムを修正しながら完成に近づけていきます。一人で分からないことも、複数の目で見えていくことでエラーを見つけることができます。

将来、どんな社会になるかわかりませんが、早期からプログラムの仕組みを理解しておくことは大切です。

